

平成三十年八月九月 (新聞折込版)

栄町見聞録

第175特別号



執筆発行 栄町議員
野田泰博
栄町安食台1丁目8番7号
メール yasnodat876@gmail.com
tel 0476-95-3665



26年前 (平成4年) の栄町と現在の日本国政府の類似点

26年前、栄町議会議員選挙にサラリーマンのま出馬した時の動機が憤りであった。今また同じような憤りを覚えている。今は、私たちが安心して生きる権利を明記した憲法が現政府やそれを支える公務員、そして自民党国会議員達によって踏みこたれている。それを憤る。

26年前

私が栄町に移り住んだのが昭和58年11月だった。成田空港に近く、都心まで1時間あまりで行け、帰宅の時は我孫子で乗り換え、30分で安食に着く。夜は真っ暗闇のトンネルを通っているようだ。駅に止まるたびに虫どもが電車の灯りに寄ってきた。そんな田舎暮らしを満喫していた。朝5時半からの通勤は決して苦痛ではなかった。

通勤行き帰りで4時間は電車の中
安食駅朝5時36分発



23年間定年まで
通勤は苦では
なかった。
安食駅到着
0時15分

サラリーマンで議員誕生
議会議員は行政の計画にももの言う立場。住民に実態を説明すべきだが、どの議員も明確に自分の考えを言わない。しかし

「栄町見聞録発行」で1万部発行。最初は5千部、後に5千部、26年間続けている。

気づき

入居から9年目にサラリーマンのまま町議員に立候補し当選した。当時、9千人の町から一気に2万人になり、人口増加率日本一になり、町は5万人構想をベースにして、役場庁舎新築、千人収容のふれプラ建設、健康保険センター建設計画と矢継ぎ早に計画実施を進めていた。まだ5団地が全部埋まってもいなく、計画だけは5万人構想で進行し、町の借金は着実に増えていた。その借金は我々住民が背負い、また未来の町民が背負うことを知り、この町を終わる住処にするなら行政にも言う人が必要だと知った。

「栄町見聞録発行」で1万部発行。最初は5千部、後に5千部、26年間続けている。

「栄町見聞録発行」で1万部発行。最初は5千部、後に5千部、26年間続けている。

「栄町見聞録発行」で1万部発行。最初は5千部、後に5千部、26年間続けている。

「栄町見聞録発行」で1万部発行。最初は5千部、後に5千部、26年間続けている。



自作の選挙カーで

国会の無駄遣い

私は今、また26年前のように憤っている。国会の経費は1日だけで3億8千万円(国会運営費+衆参施設費+予備費+国会図書館費)年間1384億円を日割り計算)。しかし国会から発表される内容は、憲法違反、資料紛失、国家公務員の嘘の資料、嘘で固めた土地代8億円値下げ売却、息子の裏口入学、豪雨で庶民が助けを求め最中に与党議員は酒盛りなどなど。

首相不信任決議案抜粋

この枝野議員や野党の首相不信任案は多数派と党に否決された。だが教科書問題で名を馳せた右翼寄りの扶桑社が枝野演説を書籍にした。カシゴ小気味好い演説だった。枝野さんに聞いたら、国会の資料なので、本の著作権はないとのこと。枝野氏は不信任演説冒頭に西日本が豪雨「害時」に政府は「カジノ法案」と「選挙制度改定」6人の国会議員を増員案」を

優先。与党は被災者救出を遅らせたと批判。

弁は中身の無い不誠実な話ばかりで時間を浪費。

弁は中身の無い不誠実な話ばかりで時間を浪費。

不信任理由1: 高度プロフェッショナル制度は労働規制時間外に置かれた労働者を過労死させる制度。労働者を定額使用放題 (スマホのような) が可能。政府提出の資料は不適切と嘘が多く、制度は廃止せざるを得ない。

不信任理由2: 日本は1300年前の持統天皇の時代から賭博を禁じている。徳川時代も現代の刑法も賭博禁止、賭博を行った者への罰則がある。賭博場(カジノ)に賭博事業者が金貸し事業ができるとは賭博胴元への多重債務者を増やす病人を増やす。またカジノは経験事業者(外資)に委託する事もありえる。(トランプカジノの餌食になる)

不信任理由3: アベノミクスは行き詰まっている。目的は個人消費を増やすことだが、老後生活、子育て生活者などの不安感が増大。お金持がよりお金が増え、一番お金(消費)が必要な世代には不安が溜まる。

不信任理由4: 国の土地を値引き、首相夫人と国家公務員が関与。公文書改ざん、公平性劣化、虚偽答弁の繰り返し、スキヤンダルを超えて社会と国家の危機。膿は出し切ると言い野党の質問への答

不信任理由5: 参院選挙制度の審議では一票の格差は正なのに比例定数増(自民党参議院議員増狙い)を、十分な説明もなく6人定員増を可決。少数意見を納得させない多数決は多数決の濫用で民主主義ではない。

不信任理由6: 北朝鮮ミサイル恫喝への対応はなすすべなく、結局米国製イージス・アショア配備(一基1千3百億円)を2基買い、北朝鮮拉致問題は米国まかせ、北方領土はお墓参りだけをさせて領土問題には踏み込まず、あんなに分かり合えたとは思ったトランプ大統領領土問題の関税は大幅上げを強いられた、何を分

不信任理由7: 森友、加計問題、自衛隊日報隠蔽、厚生労働省の働き方データ捏造、事務次官のセクハラ、文部省局長の自分の息子裏口入学、安倍内閣は行政の長として、国民のために金、権力、公平さを無視し、政治家と公務員をまるです握っていない。魚は頭から腐る。

大島衆議院議長は自民党出身議長

大島衆議院議長は自民党出身議長

大島衆議院議長は自民党出身議長

7月22日、衆議院運営委員会、先の臨時国会の運営に苦言を呈した。環太平洋パートナーシップ協定(TPP)承認、「統合型リゾート(IR)整備推進法」(カジノ法)の成立に至る過程を大島氏は問題視した。TPPは山本有二農相の「強行採決」は政府関係者の不用意な発言を批判。自民党が会期延長に乗じて成立させたカジノ法を念頭に、「議員立法は提出者が十分に説明し、理解を得る努力をすべき」と批判。2014年、審議充実策申し合わせは生かされていないと感想を述べ、法案などの審議日程で与野党が「合意形成の努力をもっとすべき」と要求。採決直前に公聴会や参考人質疑を設定することも疑問を投げかけた。会合後、大島氏は「党対党の激しい戦いがあるのは当然。運営は国民に恥じないよう、言論の府の基本を踏まえてもらいたい」と改善を促した。(大島議長は自民党出身議長)